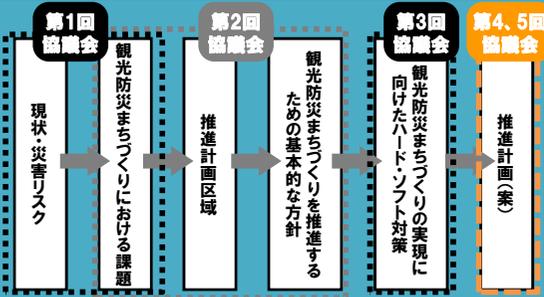


伊豆市
“海と共に生きる”

観光防災まちづくり ニュース

Vol.3



発行：伊豆市津波防災地域づくり推進協議会事務局(伊豆市防災安全課内) 発行日：平成29年6月29日
住所：静岡県伊豆市小立野38-2 TEL:0558-72-9867 FAX:0558-72-6588 E-mail:bousai@city.izu.shizuoka.jp

観光と防災のバランスのとれたまちとするための計画ができました！

土肥地域は、自然環境や観光資源に恵まれている一方で、人口減少、少子高齢化の進行や、災害リスクなどの課題を抱えている地域でもあります。

そのため伊豆市では、地域のみなさんと一緒に考えながら、環境・観光・防災のバランスのとれたまちづくりを進めるための計画である『伊豆市“海と共に生きる”観光防災まちづくり推進計画（以下、推進計画）』の検討を進めてきました。

『推進計画』は、平成29年3月の第5回伊豆市津波防災地域づくり推進協議会において『推進計画（案）』がとりまとめられ、平成29年4月に加藤会長（東京大学生産技術研究所准教授）、原田副会長（静岡大学防災総合センター准教授）から菊地市長へ答申されました。答申された推進計画（案）は、平成29年5月伊豆市“海と共に生きる”観光防災まちづくり庁内委員会に諮られ、『推進計画』が策定となりました。

『観光防災まちづくりニュースvol.3』では、推進計画策定までの経緯や推進計画の概要、今年度の取り組みについてお伝えします。（推進計画の詳細内容は、伊豆市公式ポータルサイトに掲載しています。ぜひご覧ください。）



推進計画（案）答申のようす
（伊豆日日新聞社提供）

第4回伊豆市津波防災地域づくり推進協議会における協議の概要（平成29年2月10日(金) 土肥支所）

第4回協議会では、推進計画（素案）について確認されました。特に、第5章の「リスクと共存する暮らし方・住まい方」の対策として提示した“津波災害（特別）警戒区域”に関しては、区域の考え方の確認や指定に伴う懸念などへの議論が活発になされ、推進計画（素案）では「指定を前向きに検討する。」とし、パブリックコメントを行うこととなりました。



第5回伊豆市津波防災地域づくり推進協議会における協議の概要（平成29年3月27日(月) 土肥支所）

第5回協議会では、パブリックコメントや第4回協議会の議論を踏まえ修正した推進計画（案）について確認され、第5章“津波災害（特別）警戒区域”は、「指定を前向きに検討する。」の表現のまま答申することとなりました。

また推進計画策定後、地域宣言といった地域主体の取り組み、愛称募集といった正しく知って・理解していただくための取り組みを進めていくことが確認されました。



■平成29年度の取り組みについて ～推進計画 開花元年に！～

平成29年度は、推進計画に示された地域のみなさんのアイデアの具体化や実現に向け、次の2つのことを念頭に、みなさんと協力しながら前向きに検討していきたいと考えています。

- ◆ 地域主体による具体的な取り組み推進
- ◆ 土肥地域の観光防災まちづくりの取り組みを正しく知って・理解していただくための取り組み

地域主体による具体的な取り組み推進イメージ

みなさんがお住まいの地区の自治会や所属されている団体などの**地域が主体**となり、災害への心構え・備え、避難や支援のあり方・方法などを考え、**地域宣言**や**災害対応ルール**等をまとめます。みなさんのお住いの地域の安全性を高めるだけでなく、**津波防災に積極的に取り組んでいる地域**であることを対外的にアピールします。

今年度はココをみんなでがんばる！

平成29年度 **（仮称）地震・津波対策がんばる“地域宣言”**

平成30年度～ **八木沢地区**で作成された例があります

自主防災マニュアル 防災マップ など

八木沢地区・津波避難 防災マップ

みんなでつくる **地区防災計画**

災害は忘れた頃に起こるともいわれています。

地区防災計画を活用して、いざというときに地域コミュニティごとに効果的な防災活動を実施できるようにすることが重要です。

（内閣府HPより）

伊豆市も**都市宣言**を行い、地域の主体的な取り組みをバックアップ

土肥地域の観光防災まちづくりの取り組みを正しく知って・理解していただくための取り組みイメージ

津波災害に立ち向かうためには、①**津波から避難できる体制をつくりあげること**（津波災害警戒区域）、②**今以上に被害を増やさないまちづくりを行うこと** = 子どもや高齢者等の避難に配慮を要する方々が利用する空間を想定される浸水の深さ以下に新たに建てないこと（津波災害特別警戒区域）が必要です。地域が丸となって前向きに取り組んでいけるよう**区域の『愛称』をみなさんと考え、みなさんと決めていきます。**

みんなで『愛称』を考える！

公募 学校の授業 地区の集會 組合・協会の集まり

みんなで『愛称』を選ぶ！

例えば、お祭りなどのイベント会場で

投票箱

例えば、旅館のフロントで

取り組みを知っていただく機会にも！

伊豆市観光協会土肥支部HPより

静岡大学提供写真より

さまざまな場面で、『愛称』の募集・投票いただくことを考えています！

『推進計画』や『平成29年度の取り組み』を詳しく知りたい方は、下記連絡先までご連絡をお願いいたします。
伊豆市津波防災地域づくり推進協議会事務局（伊豆市防災安全課内）
TEL：0558-72-9867 FAX：0558-72-6588 E-mail：bousai@city.izu.shizuoka.jp

伊豆市“海と共に生きる”観光防災まちづくり推進計画 概要

第1章	観光防災まちづくり推進計画の背景・目的	本市では、「津波防災地域づくりに関する法律」に基づきながら、伊豆市全域を推進計画区域とした【環境】・【観光】・【防災】のバランスのとれたまちづくりを進めるうえでの方向性や取り組みを示すことを目的に、『伊豆市“海と共に生きる”観光防災まちづくり推進計画』を策定しました。	
第2章	伊豆市の現状と土肥地域が抱える災害リスク	<ul style="list-style-type: none"> 人口・世帯数 <ul style="list-style-type: none"> ・土肥地域は高齢化率が最も高く、現在の人口は明治21年と同規模 ・今後さらに人口・世帯数減少が進行し、高齢化率が高くなるものと想定 産業 <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊・飲食サービス業の事業所・従業者数が多い ・観光交流客数は経年的に減少傾向。ここ数年は比較的安定。宿泊客が多い地域 まちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・伊豆市都市計画マスタープラン、都市計画区域の見直し、伊豆市コンパクトタウン&ネットワーク構想等の計画が関連 災害リスク <ul style="list-style-type: none"> ・安政東海地震の津波を再現。L2の地震・津波は、最大津波高T.P.10mが6分で到達する想定 ・土砂災害警戒区域90箇所、土砂災害特別警戒区域63箇所が指定（H27.12現在） ・狭隘な道路や木造住宅密集地域が多い 津波対策 <ul style="list-style-type: none"> ・津波対策の協議や、防潮堤・避難路・避難タワー、誘導標識の整備、避難ビルの指定 等 	
	第3章	観光防災まちづくりを推進するための基本的な方針	<p>【基本方針】観光、環境、防災のバランスのとれた海と共に生きるまちづくり</p> <p>【取組方針】共生する リスクを理解し、工夫を積み重ねて安全性を高めるエリアの形成 逃げる 住民、観光客、従業員などの安全を確保するための警戒避難体制の構築 生き延びる 地域が早期復旧するための支援機能の向上 守る・減らす 地震・津波・土砂災害による被害を少しでも減らすための防災・減災対策の推進</p>
	第4章	推進計画区域	浸水想定区域外の避難施設や広域的な支援が必要になることを考慮し、 伊豆市全域を推進計画区域として設定
	第5章	観光防災まちづくりの実現に向けたハード・ソフト対策	<p>【リスクを理解し観光と防災を共生させるための考え方】 観光と防災の共生に向けた考え方 おもてなしのあり方の検討／危険性だけが強調ないよう積極的な情報発信／防災も観光資源として活用 等</p> <p>リスクと共存する暮らし方・住まい方(土地利用)に関する考え方 避難体制の強化する区域・子どもや高齢者等が利用する施設を安全に建ててもらった区域の指定を前向きに検討／支援策を積極的に創出／正しく理解していただくための情報を積極的に発信</p> <p>警戒避難体制の整備に関する考え方 地域で継続的に議論を重ねる／地域と観光事業者が連携し実効性を確認・改善</p> <p>【ハード・ソフト対策の体系】</p> <ul style="list-style-type: none"> 共生する 地域防災力の強化／災害リスクへの認識や防災意識の向上／地域コミュニティの育成／長期的なまちづくりを見据えた暮らし方・住まい方（土地利用）の検討／災害に強い観光地に向けた体制構築・情報発信／防災を活用した観光事業の展開想定 逃げる 耐震化の促進／避難場所の確保／資機材の配備／避難経路・避難方法の検討／避難路の確保 生き延びる 生き延びるための体制構築／安全で衛生的な避難生活環境の確保／備蓄の確保／防災拠点の確保／災害に強いネットワーク・ライフライン構築／地籍調査の推進 守る・減らす 海岸保全施設、河川管理施設の検討／港湾施設の維持管理／土砂災害対策の推進
第6章	推進計画実現に向けた今後の進め方	<p>今後さらに検討が必要な事項 観光客の避難対応／防災・観光を繋いだ事業／リスクへの理解、安全性を高めるための地域独自ルール／災害に強い暮らし方・住まい方や、まちを構成する機能の配置／津波対策施設の影響調査、整備の必要性検討</p> <p>推進体制 推進計画の検討体制を活用し、各関係者が連携・協力しながら実現を目指す</p> <p>推進計画の評価・検証 定期的に進捗状況を評価・検証し、意見交換や関係機関との調整等を通して、適宜推進計画を見直す</p>	
巻末資料		推進計画検討の経緯 伊豆市津波防災地域づくり推進協議会の検討経緯や議事録 等 津波からの避難について 特定避難困難地域 等 みんなで考える会のまとめ 講演会、ワークショップ、市民集会、オープンハウスの開催報告	

推進計画策定までの検討経緯



※推進計画の詳細な内容を、伊豆市公式ポータルサイトに掲載しています。ぜひご覧ください。